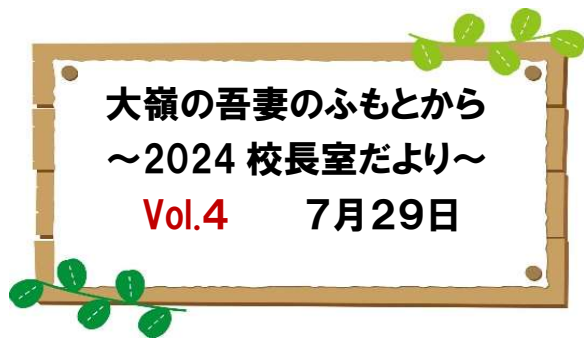




終業式・表彰式が行われました。

短い夏休みとなりますが、3年生は進路目標に向けた学習に、1・2年生は各種研修、部活動、ボランティアなどに取り組み、充実した期間を過ごしてほしいと思います。

以下、終業式での式辞をご紹介します。

【豪雨災害について】

皆さんもすでに承知の通り、25日の木曜日からの豪雨により、庄内、最上地域では、甚大な被害が生じています。犠牲になられた方に謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。また、住宅などの浸水被害に遭われた方々に、お見舞いを申し上げます。皆さんの中にも、ご親戚やお世話になった方が被害に遭われているような状況もあるのではないかと思います。ぜひ、力になってほしいと思っています。

二年前、置賜地域でも豪雨により甚大な被害が発生しました。この中にも被災した人や、親戚や友人が大変な状況であった人もいるのではないかと思います。思い出すのもつらい人がいるかもしれませんが、この時も「大雨特別警報」が出されました。

大雨特別警報は、数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合に発表されます。すでに、何らかの災害が発生し悲願が困難になっている恐れがある状況です。しかし、昨今の状況を見ると、素人ながらもはや数十年に一度という頻度で発生する状況ではないと思います。予報によれば、明日にかけて、警報基準を大きく超えるような大雨が続く見込みです。置賜地方も十分な警戒が必要です。自分そして家族の安全を最優先に行動してください。

【災害に向き合うこと】

私たちは、豪雨だけでなく、直下型地震、熱波などの異常気象にも十分な備えが必要です。そして、備えだけでなく、実際に災害が発生した時の行動、その後の対応も想定しておくことも大切だと思います。願わくは、この中から、このような自然災害のメカニズムを解明する科学者や、防災の専門家が育ってほしいとも思っています。

※ 探究活動の中で災害というテーマに向き合い、発生時には災害ボランティアとして、避難所運営などに協力している高校生を紹介

繰り返しになりますが、もはや数十年に一度といわれる災害が、毎年のように発生している。まさに答えのない問題に直面している状況です。高校生という存在は、子どもたちにとっては頼れるお兄さんお姉さん、地域の人にとっては、地域を支えてくれる、希望の存在です。明日、何が起きるかわ

からない。だからこそ、地域のコミュニティを支える一員としての自覚をもって、何ができるか、何をしなければならないのか、この機会に考えてほしいと思います。

【二学期に向けて】

二学期に向けて、皆さんに問います。

夢は叶うのか？

絶対に叶うものは夢とは言いません。それに向かって努力するものが夢。夢見るだけならそれは「妄想」にすぎません。皆さんには、潜在的な力があります。「進路の夢」は叶えられる。皆さんを見ていてそう思います。ただし、時間さえあれば。何年かけてもよければ。じっくりと力を蓄えていけば、高校を卒業した後の進路の夢は大概は叶えられるのではないかと考えます。では、時間が限られている状況の中で、どうするのか。

皆さんには、「タイムマネジメント」を意識した生活を送ってほしいと思います。「タイムマネジメント」は単なる時間管理、スケジュール管理ではありません。1日全体の中で、1週間の中で、1か月の中で、やるべきことを確認し計画的に行動することだと思います。タイムマネジメントを意識した生活を送る上で大切なことは、

- ・優先順位を決めること（順位の高いものから取り組む）
- ・目標を立てること（いつまで、どこまで）
- ・計画と期限を設定すること（計画を細分化）
- ・タスクを集中させること（類似の内容を集中的に）
- ・本当に自分が今やるべきことなのか吟味すること
- ・反省して改善すること

あの夏があったから今の自分がある、夏の経験が今の自分を支えている、そう思えるような、夏休みを過ごすことを希望して式辞とします。